

中井 希史子 さん（特定非営利活動法人すくすく）

**どんな事業をしていますか？**

奈良市で指定障害児通所支援事業として、児童発達支援事業所と放課後等デイサービスを運営しています。対象は病児や重症心身障がい児、心身の障がいや発達の遅れ、言葉の遅れがある療育を必要とするお子様です。

当社の理念は、「こども達の未来へ、こども達の生きていく力を育む” The smileful life. Quality of life.” の想いを土台に、豊かな感性と想像力、優しさと思いやり、忍耐力と行動力、健康な心と身体のバランス、笑顔を育んでいくこと」です。

当社は早期療育を目的とし、子どもたちの未来に向けて自分らしく、豊かに暮らしていけるようお子様の課題・状況をふまえて個別支援計画を作成し、脳活性プログラムを取り入れ、繰り返し行うことにより成長と発達を支援していくことを目標としています。

「言葉の意味を、カラダを通して脳で知る」ことができるよう、ふれあいを大切に、お子様の発達状況に応じて様々な体験や遊びを通して好奇心を育てていきます。

起業のきっかけは何でしたか？

25年前の出会いがきっかけでした。

友人から「介護を手伝ってほしい」という話を受け、お会いしました。その方は重度の障がいのある40歳代の方でした。介護をしているご両親は80歳近い方で、そのご両親から様々な話を聞く中で、障がいのある方の生きづらさを知りました。

そして沢山の方々との出会いもあり、「障がいのある人を対象とした保育園があれば良かったね」と伝えたところ、「そんなものは夢のまた夢だ」と言われました。その頃は現在のような制度もサービスもない時代でした。

漠然と、いつか自分で障がいのある子どもたちを対象とした保育園のような場（事業所）をやってみたいという想いを抱いたまま年月が過ぎていきましたが、2011年、愛知県にてご夫婦で事業をされている方と出会いました。

その方の想い、ご苦労の日々、子どもたちの未来を見据えた事業展開に私自身の想いも膨らみ、ご指導いただいた結果、起業という運びとなりました。

起業してよかったこと、楽しかったことは何ですか？

生命の尊さを改めて、日々出会いの中で人と人との源を学び、一生懸命に生きている子どもたちからの教えの中で気付きもあり、感謝する毎日です。



事業を拡大、または新サービス・商品を開発する中で乗り越えてきた課題は何ですか？

周りの方々の協力があったおかげで、ここまで来ることができたと思っています。
当社は、子どもたちの未来へ向けて、自分らしく豊かに暮らしていけるよう、生活動作を中心に繰り返し行うことにより、成長と発達を、地域の方々の温かな協力の中で支援させていただいています。

できるだけ日常生活に近い環境で療育を進めたいという思いから、一軒家を利用した事業所で子どもたちと日々向き合っています。

今後の夢、将来展望はどんな風にお考えですか？

子どもたちが地域の中で安心して暮らし、未来へ向けて夢を描くことのできる事業所を築いていきたいと思っています。

他の女性起業家・起業準備者へのメッセージをお願いします。

やりたいことがあるのならば、一步を踏み出すことで人との出会い、次に手がけていく課題等々と出会えます。

私自身焦らず、自分に対して素直に向き合うことを大切にしています。



企業情報

商号 特定非営利活動法人すくすく
業種 福祉
起業年 2012年
企業HP <http://haguku-mi.com/>
所在地 〒630-8101 奈良市青山8丁目104番地
連絡先 0742-37-8993

